

# 校長だより

校長 淀 廣治

保護者の皆様へ 25年度の1学期も終わりに近づきました。本当にご苦労様でした。お子様は保護者の皆様のご尽力のおかげで確実に成長しています。私は「教育」を共に育てる「共育」でもあると思っています。教師と保護者の皆さんが理解し、協力しながら子供を育てていくことが大切だと思っています。その意味で四條畷学園中学校の保護者の皆さんは最高です。学校への温かなご理解と力強いご支援には深く感謝しています。

学校教育はどうしても一律に生徒を評価したり、日常の団体生活の中では型にはめようとしてしまいがちです。大人の社会に順応していくには必要な事柄かもしれませんが、1人1人の個性や育ってきた生活環境の違いに対応したきめの細かい教育が出来るのかといつも考えています。先生方は子供とよく話をして少しでも子供を理解しようと頑張っています。今後も保護者の皆様と教師が協力して子供達を育てていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

いよいよ子供たちが待ちに待った夏休みが始まります。私も今でも学生時代の夏休みに入る前の嬉しかったことを思い出します。お父さんやお母さんも夏休みに入る前は嬉しかったのではないのでしょうか。そして2学期の始業式前の宿題が出来ていなかった辛さ、嫌でしたね。

子供達には充実した満足感のある夏休みを送ってほしいものです。どんなに頑張った子供でも、さらに上を目指しているので、「もっと出来る・まだまだ出来る」と自分に厳しく接してしまいます。目標が高い分なかなか満足感を得ないようです。勉強だけでなく、いっぱい褒めてあげられるといいですね。お父さんお母さんの今年の夏休みの目標はお子さんをいっぱい褒めてあげることにしませんか。

## 先生は今

7月5日 先生達は期末考査の採点と評価をつけるのに忙しくしています。そして夏休みの宿題作り、そして皆様方との三者懇談の準備に余念がありません。またクラブ活動は夏の大会に向けての練習に熱が入ってきています。

夏休みの期間は先生方も生徒と同じように自己の成長を目標に色々な勉強に取り組みます。先生のそうした努力は必ず生徒に還元され、生徒の成長に繋がっていきます。子供は親の、生徒は先生の背中を見て育つわけですね。信頼され、尊敬される教師になるためには努力しかありません。

若い先生は勿論、何歳になっても教育に携わる以上、勉強し続ける必要があると思っています。

## PTAの役員会

が開かれました。

体育会の係決めや文化祭でのゲームコーナーの催し、バザーの係決めなど精力的に話し合っていました。長時間にわたり本当に有難うございました。皆様方のご協力が無ければ中学校の2大行事である体育会と文化祭が成り立ちません、また耐寒OLの豚汁づくりなど多くの行事でご協力を頂き感謝しております。今後ともよろしく願いいたします。

直接役員の皆様にお礼を申し上げなくてはいけないところでしたが、臨時の校長会議があり、ご挨拶ができませんでしたので、副校長に挨拶を委ねました。又ポスターの掲示も多くの方がお引き受けくださり有難うございました。生徒募集のご協力もよろしく願いいたします。

実際に本校にお子様を通学させておられる皆様の声がどんな広報活動よりも一番大切です。ご近所の方にも学園中学校の事を宣伝していただければと思っています。よろしく願いいたします。

## 夏休みに向けて

生徒たちはこの一学期、勉強や各行事に本当によく頑張ってくれました。**努力は嘘をつきません。結果はすぐに出なくても努力した分だけ人間として成長しています。**本人は自分の成長には**気づきにくい**ものです。お母さんが気づいてお子さんを**認めて、褒めて**あげてください。本人の自信につながると思います。宜しくお願ひします。

## 夏休みの過ごし方

三者懇談で担任の先生から色々とアドバイスを受けたと思います。お子さんがしっかりと先生との約束を守れますように保護者の皆様のご協力をお願いいたします。**叱るのではなく褒めてあげて下さい。**やる気が出るように、そして自分から実行するようにしてあげて下さい。勉強だけに目を向けるのではなく、何かに夢中で取り組んでくれたらと良いと思います。

**1年生**は**中学校最初の夏休み**を迎えます。宿題もたくさん出しています。1年生にとっては初めての経験かもしれません。中学校最初の夏休みを**充実した**ものにするために、しっかりと**計画を立て、宿題やクラブ活動、そして習い事や自主研究**に取り組んでもらいたいです。自分で計画を立て、実行することは大変しんどいことです。誰かが計画したことをすることの方が楽かもしれません。自分で計画することは**一見、回り道**に見えるかもしれませんが、本当の意味で力をつけていると考えています。高校や大学に入るだけではなく、社会に貢献できる人に育つには、**自分で考えて計画し、実行する経験**を積むことが一番の**近道**だと思います。頑張ってください。勿論、**お手伝い**はしっかりやらせてください。

**2年生**の夏休みは本人が思っている以上に**大切**です。たぶん1年生のときに立てた計画は**失敗**していると思います。その反省に基づいて2年生で計画が立てられるかどうかです。**勉強のレベルもアップ**していますし、**クラブ**での重要度も増しています。自主研究など自分でやりたいこともあると思います。1年とは比べものにならないほど**ハードな計画**になるはずですが、この2年生での**計画作りと実行ができたかどうか**が3年生の夏休みの時間の使い方に大きく影響してきます。とにかく2年生では結果はともかく、**計画通りに実行する**ことに全力を尽くすことが大切です。**本気でやった失敗は次に繋がりますが、いい加減な気持ちでの失敗はまた同じ失敗を招くだけです。**勉強やクラブ活動だけではなく、**必ず家のお手伝い**をやらせてください。

**3年生**の夏休みはとにかく**猛勉強**です。**3年コース**の3年生は夏休みの**失敗**が高校受験に関する**致命傷**になりかねません。本校では習熟度別の**夏期講習**を実施しています。しかし、この講習は勉強の**きっかけ作り**です。弾みをつけて、そこから後は自分でやるしかないので。講習では大切な事柄を勉強しますので、講習内容を完全に身につける必要があります。1日**24時間**をどのように使うかは、自分で学習する習慣・意欲が身についているかで決まります。講習以外に最低でも**8時間以上**の勉強が必要です。そして、勉強の中身が大事です、集中せずにダラダラとやっていたのでは身につけません。

**6年一貫**の生徒達は1年生の時から、他のコースに負けないぐらい**勉強**をやっています。又、放課後7時、8時までの自習の時間や24時間勉強漬けの**勉強合宿**などで自分の**限界を超えた**体験をしています。決して詰め込みではなく、自分で考えながら学習する習慣が身についているはずですが、この夏休みはどれぐらい自分に学習する習慣がついているのかを確認する場でもあると思います。6年一貫コースの3年生は高校受験がない分、高校の授業内容まで進んでいます。教科勉強も大変だと思いますが、受験がない分、より一層自分に厳しく大切な時間を有効に使ってほしいと思っています。自主研究や卒業論文への取り組みなど、目標を立てて計画に基づいて実行できるようにしてくださいね。学年やコース、クラブなどによって違いますが、**体も脳もそして心も**最も成長する年齢の夏休みを無駄に過ごすのは、**大切な時間**をどぶに捨てるようなものです。是非がんばってほしいものです。

## お手伝いの重要性

それからもう1つお願いがあります。**家庭の仕事の手伝いは必ずやらせてください**。勉強さえやっていけば、**クラブ**さえやっていたら、手伝いはしなくていいという考えは絶対に持たせないようにお願いします。家族の一員である以上、手伝いは当たり前です。夏休みの期間中だけでも家族会議を開いて**役割分担**を決めてください。**手伝い**をさせることによって子供の**優しさや協調性**を高めることができます。何よりも手伝いの**良い点**は、手伝いをしてもらって**有難かった、助かった**という「**褒める**」材料を作り出せることです。**感謝の気持ち**を子供に**伝える**きっかけを作り出せることです。親子の**信頼関係**をより深く出来るということです。**批判**だけで終わっては逆効果です。お皿の**洗い方**が悪いとか、洗濯物の**たたみ方**が悪いとか、「**もう二度とやるものか**」と思わせてしまうような言い方はしないようにしてください。

**褒めて・感謝の気持ちを伝えて**、「またお願いね」と次につなげるようにしてください。絆を深めるのには、**料理**を手伝ってもらうのが非常に有効だと思います。勿論、お母様のように上手には出来ないのは当然ですので、ここでも**ダメだしは禁物**です。話をしながら一つの目標に向かって共同作業をする。お母さんからお子さんへ料理の知識や技術を教えてあげる。そして、その結果を家族で評価する。(もちろん批判はダメです)調理実習では男の子も非常に積極的に取り組んでいるようなので、男女の区別なく行える事だと思います。

夏休みは子供と接する**時間**が多くなります。**いやなところ**が目立って**小言**を言ってしまうがちですが、**認めて**あげて**信頼して褒めて**あげてください。また、お手伝いやその他**褒めてあげられる場**を多く作ってあげてください。お願いいたします。

## 全体集会での挨拶 7月2日 期末考査の最終日です

こんにちは。 やっと期末考査が終わりましたね。みなさんの今の顔は素晴らしいです。全力を尽くした、頑張った満足感のある顔をしています。明日から試験が返ってきますが、今日一日はゆっくりと試験勉強の疲れをとってくださいね。それからスポーツ大会、すばらしかったですね。先生は一部の試合しか見られませんでした。先生方から皆さんの競技態度や応援態度がとても良かったと報告を受けています。みなさんの生き生きとした楽しそうな様子を見てると先生も楽しくなりました。

楽しい学校行事は**水泳大会、体育会、文化祭**と続きます。良かったところは大いに評価し、悪かったところは反省し、次の課題として忘れないようにしておきましょう。

今日は**人間関係**について少しお話をします。「**おたがいさま**」という言葉を知っていますか。普通誰しも失敗はするものだから気にするな「おたがいさま」だ、と使いますが、もう少し深く考えてみました。自分が**人から責められている**ような気がして仕方がない人は、一度よく考えてみてください。あなたが**人を責める気持ち**が強いのではないですか。人を**責める気持ち**の多い人ほど**人から責められる**ことが多いのです。又そのように思われることが多いです。

「私は人にあまり**好かれたい**」と悩んでいる人には**好きな人があまりいない**ことが多いです。「あの人はあだから嫌だ。この人はこうだから嫌だ」と、**きれいな人だらけ**の場合が多いです。人に**好感を持っている**人は、人からも**好感をもた**れます。

人の**良いところを見出させる**人は、自分の**良いところも見られている**という事です。

人に**親切にする**人は人からも**親切に**されます。

人を**許す**人は人からも**許され**ます。自分を好きな人は他人からも**好かれ**ます。

**人を責めない**人は他人からも**責められ**ない。そういうものなのです。「**おたがいさま**」の精神です。

先生は自分の良くないところを指摘されると、良くないところを見つけてもらったと「**感謝の気持ち**」を持つようにしています。そして人の良いところを見つけて「**褒める気持ち**」を持つようにしています。

校長室の前の「ありがとうボックス」は皆さんが色々な面で良いところを見つけて「ありがとう」の気持ちを持つキッカケになればと思い設置しています。**感謝の気持ち**は自分で見つけて**成長させていく**ことが必要です。学園中学校が「ありがとう」の感謝の気持ちで溢れたらいいのにな～、といつも思っています。

**全体集会で表彰しました**

7月2日(火)

スポーツ大会の表彰です

1年ドッジボール大会  
準優勝・優勝・優勝・準優勝

3年バレーボール大会  
優勝・準優勝

2年バレーボール大会  
準優勝・優勝

バドミントン  
ダブルス女子個人準優勝



バドミントン  
女子団体優勝



バドミントン  
ダブルス女子個人優勝



バドミントン  
ダブルス男子個人準優勝



バドミントン  
ダブルス男子個人優勝



ソフトボール大会



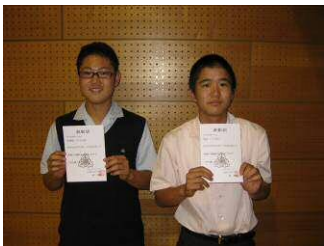
準優勝・優勝



**スポーツテストの表彰**

最高得点者

男子 3B 63点  
女子 2A 72点



**携帯電話安心講座**

7月5日

講師の大久保輝夫さんは KDDI の会社の方で、携帯電話を売る立場の方ですが、中学生には携帯電話を持たせるべきではないとはっきりと断言されました。便利けれども、余りにも危険が多すぎる。先が読めない中学生にとっては興味だけで実行して失敗してしまうことが多い。ネット社会での失敗は取り返しのつかない失敗、一度の失敗が人生をダメにしてしまうことに繋がります。人を誹謗中傷したことがネットで広まると、その人は多くの会社では採用されないし、採用後であっても人事部では人物評価として残ってしまうなど…



興味や関心以上に理性や判断能力、先が読める力を身につけることが必要だと言われていました。現在、「LINE」(ライン)での問題が多発しており中学生には絶対使用させないようにお願いされて帰られました。保護者の皆様のご協力をお願いします。

## 6年一貫コース の行事

### 社会人講座 7月9日

アナウンサー 八木早希先生の楽しい講演がありました。

「猛暑です、熱中症には注意してください。」という内容のニュースを生放送という設定で生徒がアナウンサーする体験をしました。生徒たちは八木先生の指導を受けながら発表しました。楽しい講演でした。



6年一貫コース4年生(高校1年生)の**大学進学講習**の様子です。

大学入試を知り尽くした先生の講義は生徒たちには新鮮で濃縮した時間だったようです。



6年一貫コース 4年生(高校1年生)の**自分プロジェクト**の様子です。企業とコラボレーションして、6年一貫コースのホームページの作成をしています。プロの方からノウハウを教わっているところです。もうすぐ出来上がりますので期待して待っててください。

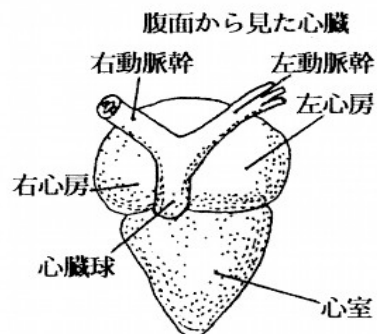
6年一貫コース4年生(高校1年生)の**進学合宿**の様子です。

さすが4年生、気合の入りが違います。集中力が半端ではありません。まだ、4年生(高校1年生)です。これからが楽しみというか、恐ろしいぐらいですね。



## カエルの解剖の様子です

みんな真剣です。本当に偉いと思います。昔の生徒の方がキャーキャー言っていましたね。大切な命を頂くわけですから、真剣に学ぼうとしています。その姿勢が素晴らしいです。



カエルの心臓は2心房1心室です

## 楽しい調理実習の様子です

美味しそうな卵焼きですね。おうちでも料理をして腕をあげてください。夏休みに特訓だ!



ピザですか、なかなかやりますね。お店の物よりおいしかったと聞いていますよ。



## 水泳大会



1学期最後の学校行事  
学年別水泳大会です。  
みんな本当に楽しんでいました。  
泳ぎが苦手な人もゲームで若さを  
を発散し、青春の水しぶきをあげ  
ていました。





## 先輩に聞く

3名の先輩に来てもらいました。  
 細川真鈴さん (天王寺高校2年生)  
 向井冴英さん (大手前高校文理2年生)  
 阪本哲紀君 (大手前高校文理1年生)

7月8日 英数発展コースの2年生と3年生の皆さんに、実体験に基づく具体的な勉強方法や心の持ち方など夏休みに向けてアドバイスをしてもらいました。

- 「学校で習った勉強を確実にきっちり身につけること」と言っていました。
- 目標と計画を立てて実行すること。3人とも夜は早く寝ていたそうです。時間があると思ってダラダラとしていないようですね。特別な勉強方法ではなく、こうすれば良いと思うことをしっかりと実行していると思いました。勉強をやらされているという感覚は微塵もなく、自分で計画し、怠けずに頑張ったというイメージが強く残りました。各教科ごとの勉強方法なども教えてくれて参考になったようです。

在校生の質問「何点ぐらい取っていましたか?」 阪本君 「470点以上です。」 ざわざわ…  
 さすが偏差値 80 越え、模擬でも1番の阪本君の答えでした。

## 全体集会

クラブ表彰や水泳大会の表彰、美化コンクールの表彰などをしました。  
 長時間にわたりましたが、生徒の聞く態度は素晴らしく良かったです。感心しました。

## クラブ部表彰

### バドミントン部

第七回大阪府中学生バドミントンダブルス大会  
 JBDの部 三位  
 JGDの部 優勝



### 陸上部

五市中体連春季陸上競技大会



### ソフトボール部

第16回大阪私立中学校総合体育大会  
 優勝



男子3年100m	優勝	
男子2年800m	優勝	2位
男子1年1500m		2位
男子2年走幅跳	優勝	
男子3年砲丸投		2位
女子3年100m		3位
女子2年200m	優勝	2位 3位
女子3年200m		3位
女子2年800m	優勝	3位
女子2.3年100m	ジュニアハードル	3位

**バスケットボール部**

大東市バスケットボール夏季大会  
男子の部 三位 女子の部 準優勝



**英語検定合格者**

準二級 18名  
三級 49名



**弓道部**

第23回 大阪私学中学校高等学校弓道大会  
(6年一貫コース)  
準優勝



**2013年第1回語彙・読解力検定**

準二級 3名合格

三級 3名合格



**パソコン検定 合格者**



水泳大会の表彰です。



美化コンクールの表彰です。





クラブ壮行会 各クラブの部長がこれからの予定や意気込みを発表してくれました。結果を楽しみにしています。保護者の方に「試合や練習を応援してれたり、支えていただけて感謝しています」と言っていたクラブもありました。

お知らせ

### 美術の服部先生が個展を開かれます。

場所 大阪市北区西天満 4-9-15 YOD Gallery

日時 7月19(金)～8月10日(土) 12時～19時 (日曜・月曜日は休館です)

### 国語の山中先生が 第65回 毎日書道展 近代詩文書の部で佳作賞を受賞されました。

[この賞は全国3万件以上の作品の中から上位3番という快挙です。

昨年は23歳までの全国の新人から6人が受賞したU23新鋭賞を受賞されています。]

昨年に引き続いての受賞は快挙です。しかも先輩の書道家の先生と競っての結果です。

山中先生すごいですね。おめでとうございます。

山中先生の作品は毎日書道展 関西展に出品されます。

場所 京都日図デザイン博物館(みやこめっせ) [京都市美術館の向かい、近代美術館の隣です]

日時 8月7日(水)～8月11日(日) 9時～16時30分

## 「いじめ」に関して思うこと

昨年、大津市で「いじめ」が原因で自殺した生徒がいました。子供の命を預かっている学校や教育委員会の体制が問われました。少しは良くなっていると思っていましたが、現状を見る限り、自己保身や責任の欠如は相変わらずです。言語道断であり、憤りを感じます。今年も名古屋で中学2年生の男子が「いじめ」で自ら命を絶ちました。残念です、絶対に助けられたはずです。

担任の教師も周りの教師も一流大学を出て、国家試験にも合格した優秀な知識を持った教師なのでしょう。勿論「いじめ」を行った生徒が1番悪いのですが、教師として一番肝心なことは「人として何が大切なのか、何を子供たちに伝えなければいけないのか」を考えることだと思います。徳育教育をするにも教師自身に徳が備わっていなければ生徒に徳育教育など出来るわけがありません。少なくとも教師になってからでも、徳を積み生徒と寄り添える教師になれるように精進すべきだと思います。

マスコミも批判するばかりではなく、もっと良いニュースを多く取り上げてくれたらと思います。物事を前向きに進めるには批判やマイナス思考ではなく感動や感謝などのプラス思考が有益なことはわかっています。少なくとも教育に関しては日本の将来を支える若者の育成のために、プラス思考の報道にマスコミが力を向けて頂けたらと思っています。

「いじめ」は最初は何処(どこ)にもある仲間同士の「からかい」や「いたずら」から始まったはずです。その「いじめ」の初期段階に止めようと思えば止められたはずです。それが残念でなりません。

今年の7月、山口県で2年前の「いじめのトラウマ」で中学3年生が自殺しました。転校前のいじめが原因のようです。「いじめ」の悲惨さを改めて思い知る事件だと思いました。

亡くなられた生徒さんのご冥福をお祈りいたします。

### 《本校での取り組み》

本校でも若い先生方や新しい先生方が増えました。教師集団が団結して「いじめ」と取り組むには認識が統一される必要があります。「遊び」と「いじめ」につながる行為との違い確認、からかいや、物を隠す、嫌なことを言う事などを「いじめ」と認識することを周知徹底するための対策をとっています。

昨年度7月に「いじめ」に繋がる事柄、些細な事であっても学年で集約して報告するように指示しています。次に、私は先生方に「いじめ」に関しての注意事項として、「いじめ」の認識・防止策・対処方法を凝縮した冊子を作り、全教員に配布しました。今年も再度配布し、熟考をお願いしています。その内容を1部紹介します。

#### 《いじめに関する注意点》

(教員に配布した内容の一部を紹介させていただきます)

四條畷学園中学校

校長 淀 廣治

「いじめ」に関して教職員が最低限知っておかなければならない内容と、「いじめ」を起こさない対策

〔認識すべき内容〕 「いじめ」防止の最前線に立つ教育者として認識すべきこと

- ① 「いじめ」は犯罪であること。
- ② 「いじめ」は重大な人権侵害であること。
- ③ いかなる理由があっても「いじめ」は認められないこと。
- ④ 教師一人ひとりが「いじめ」を絶対許さないという強い決意を持つこと。

#### 加害者について

攻撃的な性格傾向がある。自己主張が強く学校生活に溶け込んでいることが多い。  
グループのリーダー的存在であることが多い。  
他人を支配したい欲求が抑えきれず、被害者に思いやりを示さない。  
グループで被害者をからかい始める。繰り返し行う。  
雄弁で言い訳がうまい。(からかい・遊び・プロレス・相手もやっているなど)  
被害者の心が動揺するのを見て喜び、支配欲を満足させるためにいじめを繰り返す。  
脅して金品を手に入れる。常に言い逃れを考えている。  
一旦「いじめ」をやめて、仲間に入れ仲良くするふりをする。周りの目を欺いてから再び以前よりひどくいじめる。(被害者を周りから仲間だと思わせる)

#### 被害者について

被害者が大きな原因を持っていることは少ない。少し違っていることが標的になる場合が多い。  
誰でも被害者(ターゲット)になりえる。  
被害者の失うものは多い。  
存在価値を否定される。⇒「死ね」などの暴言。  
安心できる居場所を奪われる。友達として家まで押しかけられる、メール攻撃。  
自信を剥ぎ取られる。心が動揺するのを楽しまれる、心がズタズタになるまで続けられる。  
学校には行きたいが、朝がくるのが怖い日々が続く。  
信用や尊敬も無くす。周りには「いじめられても仕方が無い」と思う様に仕向けられる。

被害者の多くは成人しても心の重荷を解放(ときはな)つ事が出来ないでいる。痛ましいことに、後遺症として大人になる前に自殺してしまうケースもあり、残された家族も打ちのめされてしまうことになる。

昔のいじめっ子を見かけると吐き気に襲われ、車の中で震えている。  
一生消えることの無い苦しみを抱えて心身が消耗しきってしまう被害者が多い。

## 傍観者について

被害者の多くは「いじめ」られたことより、「見て見ぬふりをされた事」の方が辛いといっている。仕返しや、次のターゲットになるのが怖くて「いじめ」に添うような行動を取るものもいる。動機が何であれ、「いじめ」を目の当たりにしながら、眺めたり、笑ったり、はやしたり、何もしないのは「いじめ」に荷担し、助長し、容認していることとみなされる。傍観者の適切な対応と教師の積極的な対応が「いじめ」を無くす最善の方法です。学校に「いじめ」が存在することで楽しい学校生活が過ごせない。過去の「いじめ」を思い出し、悩み苦しむ生徒がいる。

## 「いじめ」の具体的な事例

### 精神的な「いじめ」

被害者が困っている様子を楽しむ非常に陰湿な「いじめ」である。精神的な「いじめ」の手口を使う加害者は自己弁護することが多い。

(誤解・ただふざけていただけ・そんなつもりではなかったなどの言い逃れをする)

### 具体例

- ・授業中に悪口の手紙を回し反応を楽しむ・筆箱や教科書などを隠す・ノートや教科書に落書きをする・悪口や中傷や差別発言や脅し文句を言う、メールを流す・人前で恥をかかせる行為をする
- ・屈辱感を味あわせるようなものまねをする・グループから締め出したり、締め出すことを脅しに使う、思いどおりに操る・性的な「いじめ」他

精神的な「いじめ」の場合、被害者は自分が「いじめ」を受けていたことを認めない場合が多い。教師の対応方針を明記しましたが省略します。

本校では担任だけが対応するのではなく、学年（学校全体）がチームを組んで適切な初期対応をすることになっています。そのことが非常に大切だと考えています。

### 身体的な「いじめ」について

基本的に1対多数の場合が多い。具体例は省略いたします。

我慢しがちで長期化してしまいがちです。心の痛みを笑ってごまかすため周りの生徒もふざけていると認識してしまいます。周りの生徒が「いじめ」と感じる時期は、始まった最初の時期です。「これはいじめと違うのかな、でも笑っているし、遊んでいるだけなのかも、でも「いじめ」につながる遊びだと思う。」

この段階での適切な情報収集と対処が大切です。いじめにつながる遊びとして禁止すべきです。二度と似た様な遊びは認めない。そして、加害者の心の教育はもちろん、被害者の心のケアも必要です。最初の適切な対応が非常に大切です。

本校ではプロレスごっこなど「いじめ」に繋がる遊びは一切禁止です。やっている本人たちが何と言おうと禁止です。被害者は「いじめられている」とは絶対に言いません。教師が判断して禁止します。

## 「いじめ」の定義

「いじめ」とは「一つの集団の中で、優位に立つ個人やグループが、弱い立場の者に身体的、精神的苦痛を与えること」と定義されています。

### 「いじめ」の基本的認識

「いじめ」の内容が一度であれば我慢できる場合でも、一対多数の場合・繰り返し行われる場合は被害者にとっては大きな苦痛となる事を生徒・保護者・教師が共通認識として再確認する必要があります。

教師にこの認識がないと「いじめ」はクラス全体・クラブ・学年・学校全体へと広がっていきます。この「いじめ」に関しての認識は教師にとっては基本中の基本です。

〈いじめの内容のレベルが2であっても  $2 \times 5 \text{人} \times 10 \text{回} \times 30 \text{日} = 3000$ 〉  
被害者には3000のダメージになります。耐えられる限度を遥かに超えています。  
「いじめ」のダメージは消えることはなく積み重なっていきます。  
加害者は「いじめ」の認識が薄く長期間続くことになります。

(例) いやなあだ名を言われる。誹謗中傷のメールを送られる。物を隠される。からかわれる。などの内容でも多数の人が繰り返し、何日間にもわたり手を変え品を変えて行われていけば、これは重大な「いじめ」です。**全てはここから始まります。**

本校が取り組んでいる 「いじめ」防止策 教師向けの特別な詳細な対応策は省略しています

「いじめ」が起こる危険箇所の確認と監視強化 監視は教師の仕事です。  
いじめのアンケート調査を行う。本校では2回アンケートとハイパーQUでの調査を実施しています。  
いじめが発見しやすい状況を作る。個人面談などでクラスの様子などを聞いています。  
生徒に傍観者のとる行動が「いじめ」を防ぐ一番の方法であることを分からせる。  
全ての教師がいじめに繋がる遊びや・授業中の態度を目撃した場合は、その場で厳重に注意し、その旨を必ず報告すること。決して見逃さない、見て見ぬふりはしない。  
保護者との信頼関係を構築し、子供の様子など「いじめ」の情報を得るように日ごろより努めておく。  
命の大切さ・親や先生に相談することの大切さなどを考えさせるような指導する。  
教師は生徒が発しているサインを見逃さない感覚を磨き、身につけ、悩みの早期発見に努める。

「いじめ」発覚後の対応策の詳細 省略いたします。

## 保護者の方に注意してほしい事。

子供の変化に気づいてください。しっかり確認することから始めてください。  
自分の子供がいじめられていなくても、傍観者の立場であっても様子の変化することが多いです。  
学校と連絡を取り合い対処方法を考えてください。  
頑張れとか強くなれとは言わないでください。突き放されていると受け止めます。

本校からいじめでつらい思いしている生徒が1人も出ないように今後も保護者の皆様と教師が協力したいと考えています。宜しくお願いします。